

第15回吹田貨物ターミナル駅調整会議 議事要旨

1. 日 時：2023年6月19日（月） 15：00～15：45

2. 場 所：JR貨物 吹田貨物ターミナル駅 3階大会議室

3. 出席者：別紙出席者名簿参照

4. 議事内容

(1) 吹田貨物ターミナル駅調整会議の経緯について、JR貨物が説明しました。

- ・第12回～第14回の吹田貨物ターミナル駅調整会議について、コロナ禍での感染拡大等も重なり書面開催としておりました。対面での開催は4年ぶりです。
- ・吹田貨物ターミナル駅の建設事業を着手する際に、「①年間貨物取扱量推移」、「②中継コンテナ取扱量推移」、「③吹田貨物ターミナル駅専用道路通行台数」等の制限を着手合意協定書で定めており、本会議にてそれらの実績報告その他議論をする場となります。

(2) 吹田貨物ターミナル駅および大阪圏4駅の令和4年度貨物取扱量について、JR貨物が【資料(1)－1】に基づき説明しました。

- ・吹田貨物ターミナル駅の取扱量は、令和4年度は年間81万トンでした。前年度より減少しており、協定の遵守事項である年間100万トン以内となっています。
- ・令和2年度において各駅の取扱量が減少しているのは、コロナ禍の影響で全国的に輸送量が減少したためです。

(3) 吹田貨物ターミナル駅の令和4年度中継コンテナ取扱量の推移について、JR貨物が【資料(1)－2】に基づき説明しました。

- ・令和4年度の中継コンテナ取扱量は35万トンでした。協定の遵守事項である年間45万トン以内となっています。
- ・令和1年度と令和2年度で中継コンテナ取扱量が減少したのは、中継コンテナ取扱いを一部、近隣の別駅で実施する列車設定となった影響によるものです。

(4) 吹田貨物ターミナル駅専用道路の令和4年度の通行台数について、JR貨物が【資料(2)】に基づき説明しました。

- ・1日の最大通行台数については、3月に1日あたり800台を超えた日がありましたが、協定の遵守事項である1日1,000台以内となっています。
- ・年度末の台数の増加は、引越し荷物の増加などの理由によるものです。
- ・13時から翌日13時までで一日分として集計しており、台数が多い日は、1,000台を超えないよう、管理しています。

<質疑応答>

Q : 駅からゲートを通り進出する際、右折後すぐの信号でトラックが停車するが、発車時のエンジン発進音が非常に大きく、振動・騒音とも心配している。過去は環境測定器が設置されていた。

Q : 構内に入出入りするトラックによる交通事故が心配です。入口付近は通学路にもなっているのですが、事故を発生させないよう、これからもルールやマナーを遵守してほしい。

A : 承知しました。

Q : 今後も年に1回の頻度で定例的に対面での調整会議を開催していくのでしょうか。

A : その予定ですが、定例外でも必要に応じて話し合いの場を設けていく所存です。

Q : 5月6日に2025万博及び吹田貨物タ駅開業10周年のJR貨物のイベントについて開催されたが、目的に応じターゲットの年齢層などを絞って開催してはどうでしょうか。また開催の連絡が遅かったのではないのでしょうか。

A : 開催の連絡が遅かった点は申し訳ございませんでした。大阪万博記念と合わせて開催する形となり、ご案内が遅れてしまいました。また今後開催する場合、目的に応じた開催の仕方等、工夫して進めたいと考えます。

Q : イベントで見た冷凍コンテナはどれだけの時間冷凍状態が維持されるのか。

A : 北海道等の遠隔地への輸送を考慮しており、最大3日間維持できます。

Q : 話を伺っていた看板設置について進捗を教えてください。

A : 構内の看板を更新する工事をしております。このうち、進入ゲート近くの鉄道高架橋にある看板（シート形状）については、材料手配の遅れの影響で予定より遅くなっております。施工時には夜中に通行を規制して作業を予定しています。事前に連絡はいたしますが、ご承知おきください。

A : 承知しました。

Q : 着手合意協定書の第1条(3)に「①1日当たりの列車本数は12本以内とする。」
「②コンテナ貨車両数は26両以内とする」と記載されておりますが、これらは遵守できているのでしょうか。

A : 遵守しております。

Q : トラックが出入りできる時間は決まっていますか。

A : 特に制約は設けていません。駅の特情により夜中の出入りは少ないが朝方に多くなります。また、通行台数はトラックだけでなく乗用車や緊急自動車等も含めてカウントしており、同じ車両の出入りで2台分のカウントとなりますので、トラックの通行台数は提示の数字より少なくなっています。

Q :吹田貨物ターミナル駅は防災拠点となっていますか。

A :指定はされていないと思いますが、沿線火災時に構内の防火水槽を水源として消火活動したこともあります。

Q :吹田貨物ターミナル駅の営業は、住民の生活に密着しているので、今後も地元住民の理解が得られるようお願いしたい。

A :承知しました。

以 上